

## 2021年度 第1回 高大連携フォーラム 開催報告

オンラインにて「高大で考える『情報』入試～デジタル社会が求める IT 人材の育成」をテーマに以下のとおり開催した。

日時： 2021年10月22日（金）18：00～20：00  
会場： オンライン（ZOOM）にて  
講演： 「情報」入試で問われる「情報Ⅰ」の概要  
講師： 鹿野 利春 氏（京都精華大学 メディア表現学部 教授）  
事例発表： 「情報Ⅰ」の実施に向けた大阪府教育庁の取組みについて  
発表者： 田中 宏樹 氏（大阪府教育センター 指導主事）  
申込者数： 175名  
参加者数： 133名

会員大学	37名
会員大学外	29名
その他	67名（うち高校47名）
合計	133名

プログラム： 司会・ファシリテーター： 兼宗 進 氏（大阪電気通信大学 工学部長）  
①開会挨拶 大澤 茂男 氏（大阪青山大学 副学長、高大連携部会 部会長）  
②講演 鹿野 利春 氏  
③事例発表 田中 宏樹 氏  
④ パネルディスカッション  
⑤閉会挨拶 秋田 成司 氏（大阪府立大学 副学長、高大連携部会推進委員会 委員長）

アンケート結果： 別紙のとおり

### フォーラムの様子

情報分野からみた高大接続改革

- 高等学校教育改革
  - ・ 「社会と情報」「情報の科学」→「情報Ⅰ」（共通必修科目）  
「情報Ⅱ」（選択科目）
- 大学教育改革
  - ・ 文理を問わず全ての大学・高専生が、正規課程にてリテラシーレベルの数理・データサイエンス・AIを習得することを目標とする
- 大学入学者選抜改革
  - ・ 大学入試センターが「情報Ⅰ」を実施
  - ・ 試験時間を60分とする
  - ・ 大学側の対応について国立大学協会が検討中

講演 鹿野氏



ファシリテーター 兼宗氏

事例発表 田中氏

大学入学共通テストとの繋がり

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善  
IPv4 におけるネットワーク部を表すビット数を題材に、生徒が主体的に学習し探究する場面を設定して、IP アドレスの理解と基数変換の考え方を基に考察する力を問うている。  
サンプル問題『情報』第1問 問題のねらいより抜粋
- 現実世界とのつながりや関連を意識した問題の解決に向けた探究  
オープンデータを用いて、基本統計量などから全体の傾向を読み取ったり、予測したりする問題解決の活動の中で、データの活用に関する考察する力を問うている。  
サンプル問題『情報』第3問 問題のねらいより抜粋

◆2021年度 第1回 高大連携フォーラム 参加者アンケート結果◆

参加者133名 回答件数75件 回答率56.4%

<p><b>1. 回答者について</b></p> <table border="1"> <caption>回答者について</caption> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学教員</td> <td>18</td> <td>24.0%</td> </tr> <tr> <td>大学職員</td> <td>18</td> <td>24.0%</td> </tr> <tr> <td>高等学校教員</td> <td>24</td> <td>32.0%</td> </tr> <tr> <td>民間企業関係者（教育関連）</td> <td>7</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>高等学校職員</td> <td>2</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>自治体関係者</td> <td>1</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>民間企業関係者（教育関連以外）</td> <td>1</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table>	所属	人数	割合	大学教員	18	24.0%	大学職員	18	24.0%	高等学校教員	24	32.0%	民間企業関係者（教育関連）	7	9.3%	その他	4	5.3%	高等学校職員	2	2.7%	自治体関係者	1	1.3%	民間企業関係者（教育関連以外）	1	1.3%	<p><b>2. 本フォーラムを知ったきっかけ（複数回答可）</b></p> <table border="1"> <caption>本フォーラムを知ったきっかけ</caption> <thead> <tr> <th>きっかけ</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学コンソーシアム大阪からの案内</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>asagao-ML、Tulipメーリングリスト</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>チラシ</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>所属先からの案内</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>大学コンソーシアム大阪HP（SNS含む）</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他: 別イベントにて周知されていたから</p>	きっかけ	人数	大学コンソーシアム大阪からの案内	21	asagao-ML、Tulipメーリングリスト	16	チラシ	16	所属先からの案内	15	大学コンソーシアム大阪HP（SNS含む）	8	その他	10
所属	人数	割合																																								
大学教員	18	24.0%																																								
大学職員	18	24.0%																																								
高等学校教員	24	32.0%																																								
民間企業関係者（教育関連）	7	9.3%																																								
その他	4	5.3%																																								
高等学校職員	2	2.7%																																								
自治体関係者	1	1.3%																																								
民間企業関係者（教育関連以外）	1	1.3%																																								
きっかけ	人数																																									
大学コンソーシアム大阪からの案内	21																																									
asagao-ML、Tulipメーリングリスト	16																																									
チラシ	16																																									
所属先からの案内	15																																									
大学コンソーシアム大阪HP（SNS含む）	8																																									
その他	10																																									
<p><b>3. 本フォーラムに参加しようと思った理由（複数回答可）</b></p> <table border="1"> <caption>本フォーラムに参加しようと思った理由</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テーマに関心があったから</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>最新情報を知りたかったら</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>登壇者または講演内容に関心があったから</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>オンラインでの開催だったから</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>事例を知りたかったから</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>上司からの指示または業務上の必要性があったから</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	理由	人数	テーマに関心があったから	67	最新情報を知りたかったら	34	登壇者または講演内容に関心があったから	22	オンラインでの開催だったから	18	事例を知りたかったから	12	上司からの指示または業務上の必要性があったから	5	<p><b>4. 講演について</b></p> <table border="1"> <caption>講演について</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても参考になった</td> <td>44</td> <td>58.7%</td> </tr> <tr> <td>参考になった</td> <td>28</td> <td>37.3%</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>3</td> <td>4.0%</td> </tr> </tbody> </table>	評価	人数	割合	とても参考になった	44	58.7%	参考になった	28	37.3%	あまり参考にならなかった	3	4.0%															
理由	人数																																									
テーマに関心があったから	67																																									
最新情報を知りたかったら	34																																									
登壇者または講演内容に関心があったから	22																																									
オンラインでの開催だったから	18																																									
事例を知りたかったから	12																																									
上司からの指示または業務上の必要性があったから	5																																									
評価	人数	割合																																								
とても参考になった	44	58.7%																																								
参考になった	28	37.3%																																								
あまり参考にならなかった	3	4.0%																																								
<p><b>5. 事例発表について</b></p> <table border="1"> <caption>事例発表について</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても参考になった</td> <td>33</td> <td>44.0%</td> </tr> <tr> <td>参考になった</td> <td>40</td> <td>53.3%</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>2</td> <td>2.7%</td> </tr> </tbody> </table>	評価	人数	割合	とても参考になった	33	44.0%	参考になった	40	53.3%	あまり参考にならなかった	2	2.7%	<p><b>6. 本フォーラム全体について</b></p> <table border="1"> <caption>本フォーラム全体について</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても参考になった</td> <td>37</td> <td>49.3%</td> </tr> <tr> <td>参考になった</td> <td>37</td> <td>49.3%</td> </tr> <tr> <td>あまり参考にならなかった</td> <td>1</td> <td>1.3%</td> </tr> </tbody> </table>	評価	人数	割合	とても参考になった	37	49.3%	参考になった	37	49.3%	あまり参考にならなかった	1	1.3%																	
評価	人数	割合																																								
とても参考になった	33	44.0%																																								
参考になった	40	53.3%																																								
あまり参考にならなかった	2	2.7%																																								
評価	人数	割合																																								
とても参考になった	37	49.3%																																								
参考になった	37	49.3%																																								
あまり参考にならなかった	1	1.3%																																								
<p><b>7. 本フォーラムの満足度について</b></p> <table border="1"> <caption>本フォーラムの満足度について</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概ね満足</td> <td>45</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>26</td> <td>34.7%</td> </tr> <tr> <td>満足できない点があった</td> <td>4</td> <td>5.3%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	人数	割合	概ね満足	45	60.0%	満足	26	34.7%	満足できない点があった	4	5.3%	<p>「情報」入試 高大で考える デジタル社会が求めるIT人材の育成</p> <p>10月22日(金) 18:00-20:00</p>																													
満足度	人数	割合																																								
概ね満足	45	60.0%																																								
満足	26	34.7%																																								
満足できない点があった	4	5.3%																																								

<p><b>8. 上記と回答した理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科「情報」に関することの整理ができました。</li> <li>・いろいろ参考になりました。</li> <li>・大変興味深い内容でした</li> <li>・学習指導要領、高校教育現場の状況がよく分かったから。</li> <li>・情報科目の在り方について知ることができたため。</li> <li>・オンラインで気軽に参加できたので。</li> <li>・孤軍奮闘では改善しないことを再確認できました。</li> <li>・内容が整理されていて、とても分かりやすかったです。</li> <li>・自分と立場の異なる方の意見をじっくり伺えた。</li> <li>・鹿野先生のお話が非常に分かりやすかったためです。</li> <li>・鹿野先生のお話は何度か聞かせていただいております、その理念にはとても共感します。大阪府の研修のお話も聞いて良かったと思います。zoomでの開催は仕事の後でも参加できるので、とても有り難いです。</li> <li>・府教育庁の取組では実際の先生の声などが聞きたかった。</li> <li>・基本かつ重要な視点を改めて確認できる機会となった。</li> <li>・2025年度入試改革への参考となった。</li> <li>・来年からの「情報Ⅰ」の授業に対する心構えのところが、しっかりイメージできた。</li> <li>・詳しく説明が聞けた。</li> <li>・質疑応答の時間が長いと思う。</li> <li>・とてもタイムリーな内容で参考になりました。</li> <li>・事例報告の内容や具体例をもう少し厚めに伺いたかった。</li> <li>・今後の大学としての対応を考える良いきっかけになったからです。</li> <li>・お伺いしたかった情報を聞くことができました。</li> <li>・内容は良かった。参加しているみなさんの声をもっと聞けたらいいなと思いました。</li> <li>・情報が設置された経緯や今後の入試での対応などについて参考になったため。</li> <li>・「情報Ⅰ」について、詳細かつ具体的な内容が理解できたことに満足しております。</li> </ul>
<p><b>9. 講演についての意見や感想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学との関係等、大変分かりやすく整理いただけたので勉強になりました。</li> <li>・分かり易い説明で良かった。</li> <li>・現状を知ることができ、参考になりました。</li> <li>・パソコン室の整備など、教科内容だけでなくアドバイスや、どうやって3年間を組み立てたらよいかなど、とても良いお話を聞けました。</li> <li>・「情報Ⅰ」をやって終わりではなく他教科でもプログラミング等をやればよいとのご指摘でしたが、情報科教員1名の校内における影響力はそこまで大きくないだろうと思いました。</li> <li>・鹿野先生のお話は昨年度から何度もお聞きしていて、その崇高な理念はとても共感できるのですが、現実の生徒はなかなかそこまで育った状態で高校に来てくれないよという気がします。大学の先生が、「情報Ⅰ」を学習した生徒が入学してくることが楽しみだとおっしゃっていましたが、高校で勤務している私は、中学までの学習内容をしっかり身につけた生徒が高校に来てくれたら、その期待に応えられるのになあと感じます。現実には、アルファベット表記がわからない、数学も算数レベルがわからない生徒が高校に入学しています。その生徒に対して、「情報Ⅰ」の内容はかなり難しく、工夫が必要になります。</li> <li>・新旧課程の共通点、相違点を分かりやすく整理して解説いただけたのが良かった。</li> <li>・「情報Ⅰ」は多くの高校で1年次に配当されるようですが、「数学Ⅰ」のデータの分析の学習は3学期になりそうなので学習する順番が逆転しそうに思います。</li> <li>・内容を理解せずにとにかく言う人が多いが、情報入試の意義や「情報Ⅰ」の目的・内容が的確によく理解できる内容だった。</li> <li>・詳細な内容で理解できました。</li> <li>・「情報Ⅱ」を教える教員は大変！想定外の範囲。</li> <li>・踏み込んだ内容になればよい。</li> <li>・入試に向けて、カリキュラムをどう編成するかを検討をしている最中でしたので、大変参考になりました。</li> </ul>
<p><b>10. 事例発表についての意見や感想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組みについて詳しくお教えいただき大変参考となりました。</li> <li>・ルーブリックや生徒への姿勢など、参考になることが多かったです。ありがとうございました。</li> <li>・授業の事例紹介だと勘違いしていたというのですが、教員研修の事例紹介でもう少し踏み込んだ具体的な話が聞きたかったです。</li> <li>・中堅～上位の高校で各校1人しか情報科の教員がないという現状を改善して欲しいです。来年度からは3観点評価も始まりますし、一人一人の生徒がしっかり見れるような体制が欲しいです。かつては2校を1人で360人の生徒の評価をしました。今年度の学校も情報科の教員は私1人です。1年240人、2.3年で40人ほどの週1回しか会わない生徒の評価を3観点でするのは、本当に至難の技です。</li> <li>・入試への活用を考えるにあたって参考になる情報を頂けた。</li> <li>・疑似コードではソフトがうまく動かないし、公教育で特定のプログラムを教えるのは問題だし。</li> <li>・高校現場での取組が理解できました。</li> <li>・素晴らしい取り組みである。全国に広げてほしい。</li> <li>・大阪府がうらやましいと思いました。</li> <li>・ICT環境の整備と、入試に向けての取り組みは全く別、とはいえ、連動しないわけにはいかず、教育庁（教育委員会）の方のご苦労はいかばかりかと思えます。</li> <li>・やりたいことはよく分かりました。課題も詳しく知りたかったです。</li> <li>・大阪府の取り組みがよく分かりました。</li> </ul>
<p><b>12. 本フォーラム全体についての意見や感想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お忙しい中、素晴らしいフォーラムを企画、実施していただきありがとうございました。</li> <li>・オンラインでの開催、参加しやすいものでした。ありがとうございました。</li> <li>・このような機会をまた作っていただき、大学入試やIPAやEdTech教材などの情報を発信して下さると有難いです。</li> <li>・高大連携フォーラム、これからも期待しています。zoom開催大歓迎です。</li> <li>・オンライン開催が有難かった。</li> <li>・タイムリーな企画では建前ではなく現実ベースでお話ししていただければと思います。</li> <li>・発表資料がいただけると良かった。</li> <li>・できれば、掲載されている資料をフォーラム終了後、閲覧できれば幸いです。</li> <li>・意外と学生さんが主体的に活動していることが分かり、またそれを柔軟に受け入れていってほしい体制が整ってほしいことに感銘を受けました。</li> <li>・単なる入試科目として「情報Ⅰ」をとらえるのではなく、多角的な視点から考えていかなければいけないなあ、と思いました。</li> <li>・最後の質問などで都道府県によって情報に対する対応の違いなどを感じることができ参考になりました。提示いただいた資料が可能であれば、事前または事後に提供いただけると有難いです。</li> </ul>
<p><b>11. 次回のフォーラムで取り上げてほしいテーマ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高大問わず、授業実践事例の紹介など</li> <li>・総合的な探究の時間について</li> <li>・共通テストと「情報Ⅰ」授業の工夫</li> <li>・「情報Ⅰ」の情報デザイン部門のカリキュラムデザイン</li> <li>・導入事例の紹介など</li> <li>・共通テストについて</li> <li>・「情報Ⅰ」来年の試行問題の分析</li> <li>・情報入試</li> </ul>